



(本社・工場)

大亜鋼業株式会社

和歌山市雑賀崎



代表取締役社長
宮本宣明さん

◇御社の歴史を教えてください。

当社は昭和二十八年に創設。日本製鉄株(旧住友金属工業株)の協力企業として、共に発展してきました。高炉などで使われる耐火物や製鋼スタート治具等を作っており、厚板の切断や製罐・機械加工なども行っています。

主力製品は製鉄工程に必要な治工具類で、日本製鉄(株)に貢献しています。

◇「ものづくり」のこだわりは？

当社の製作治工具類は、日本製鉄(株)の必需品であり、特に治具関係は八割以上を、当社が製造しています。製鉄所は三六五日二四時間体制で稼働しているため、私達の製品は遅滞すると大変な事態を招くので、日々緊張し、作業を行っています。『日本の「鉄」を支える』を誇りとしています。

◇従業員の人材育成は？

トライアンドエラーで技術を磨いていきます。そのため各部署をローテーションで回りながら、先輩が後輩を指導していきます。一人前になるには相当な時間を必要とし、少なくとも五年位はかかります。製罐関係などは図面を見て、きちっとした仕事が出来ようになるには十年くらいかかります。従業員を大事にして人づくりをしています。が、なかなか、この世界に飛び込んできてくれる人は少ないです。

修了生の声



平成25年4月修了
井邊 雅臣さん
37歳
電気設備技術科修了

入社後六ヶ月で、現在はシャーリング(切断)業務に従事しています。さらにレーザー切断機の習得を目指し図面と格闘中です。



平成25年9月修了
山東 英生さん
28歳
テクニカルメタルワーク科修了

ポリテクのメタルワーク科(現溶接加工科)に入所し、何知識がなかった「溶接」を学びました。おかげで、現在はさまざまな物の製作に携わっています。もっと腕を磨き、日本の「ものづくり」に貢献したいと思っています。



平成29年6月修了
金 泰仁さん
46歳
溶接加工科修了

ポリテクの溶接加工科に入所し、「溶接」を学び、現在は治具の製作に従事しています。先輩の助言や指導もあり、センターの知識を生かしています。今後スキルを積み重ね、社会に貢献できればと思っています。

(令和元年6月取材)

◇これから「ものづくり」を目指す人へ伝えたいことは？



(修了生作業中)

現在、IT、AIとPC関連がよく目立つ世となっています。が、人の生活を豊かにし、これからも人に寄りそっていく最も身近なものは「鉄」です。私達は、日本製鉄株に貢献することで、「日本に」、「世界に」貢献しようと考えています。「鉄」も進化を日々遂げています。私達の日々の作業も「最先端」であり続けています。皆様と共に、日本を豊かにすべく、身近なものに目を向けてください。

◇ポリテクセンター和歌山に期待することは？

クレーンや玉掛けなどの資格関係があれば、即戦力となり、スキルアップは助かります。ただ、期待できる人材に入ってきてもらっていますので、今後も当社への入社をお願いしたいと思っています。



(航空機用タラップのベース)